

# 市議会議員 木戸あきらの議員報告

経歴 中央大学法学部卒業、伊藤萬(イトマン)株式会社勤務後、現在は、社会福祉法人理事長。

議員歴 高石市議会議員(3期目:平成27年4月再選)

## 高石市は、他市に先行する 「子育て・介護支援策」を発表すべし!

高石市の人口減少は止まりません。ピーク時の約6万7千人から、現在の約5万8千人にまで減少しました。人口が減り、税収が減れば、行政は市民へのサービスを低下せざるを得なくなります。そうなれば、市民はよりサービスのいい自治体へ転居しますから、さらに人口は減ってしまいます。この悪循環を断ち切るには、働く世代に定着していただく施策を打ち出すしかありません。

そのためには、子育てが終わったら、引き続き親の介護が待っているという、今の「働く世代のライフサイクル」に合わせて、子育て支援と介護支援を組み立てていく必要があります。

現在、高石市が力を入れている施策は、新しい道路の整備です。新設道路整備には国から補助金がたくさんです。また、今まで高石市が買いためてきた未使用の土地を道路用に処分もできます。そのうえ、市の持ち出し分については借金で賄ってもかまわないという制度になっていることから、高石市はこの新設道路整備を大

きな柱として継続していく方針です。

手元の資金を使わずに道路が整備できる代わりに、高石市の借金は莫大となります。借金が将来にどのくらい負担をかけるのかという指標「将来負担率」を見れば、平成26年度全国市町村平均が、45.8%に対して、高石市は206%と群を抜いています。高石市の年間予算の2倍強を高石市民が返済していかなければならないのです。

新設道路整備はここまでとし、子育て支援と介護支援に主たる施策を転換すべきです。他市に先行する支援策を発表して、働く世代を流入させる…そんな行政になっていただくように、今後も訴えていく所存です。

社会的に発言する機会が少ない子ども、お年寄りに、こちらから気遣うだけの器量を持ちたいものです。

弱い者いじめめるなど父から習い、憐憫の情を持って祖父から学び、義を見てせざるは勇無きなりと恩師から教わりました。

「格差」という言葉が市民権を得て、「勝ち組」になるにはどうすればいいかばかりが発信されています。

「龍安寺の蹲」  
下流老人、老人破産、子どもの貧困これらはすべて本の名前です。

吾口知足



## 1

## 高石市は地域密着型特養施設を整備せよ!

9月議会一般質問で「大阪府で最も特養が少ない市は交野市と高石市です。」と改善要求しました。

初めて介護に直面すると、介護施設の種類が多いことに驚かされます。特養、老健施設、有料老人ホーム、グループホーム、ショートステイ、小規模多機能型居宅サービス、サービス付き高齢者住宅、そしてデイサービス、まだまだあります。そんな中で最も安心な施設として知られているのが、特養です。高石市には2施設ありますが、高石市民が優先して利用できる施設ではありません。

**高石市民が優先して入所できる特養が高石市には存在しません。**

この施設のことを地域密着型特別養護老人ホームと言いますが、大阪府はこの施設の建設に大きな予算枠を取って推進しています。木戸は、なぜその予算を使って高石市に地域密着型特養施設を作らないのか?と6月議会、並びに9月議会で質問しましたが、行政の答えは、「民間介護施設が充足している。地域密着型特養施設は次回の福祉計画で検討する。」とのことでした。



高石市には「ぎやらの郷」があり、公営施設で大変意義ある施設ですが、ここは「老健」施設といって入院後のリハビリを目的としている施設ですから、入所後3か月で退院することが基本になっています。特養のように、「ずっといいですよ!」という施設ではありません。この「ぎやらの郷」を退所した後、高石市民が優先して入居できる特養が必要です。

2025年の高齢者人口はピークを迎えます。「地域包括ケアシステム」という、自宅介護にスイッチすると厚労省は言っていますが、一方で阿部首相は特養を増やすと公言しています。国も迷っていますが、私は介護現場を預かってはじめて実際の介護は自宅だけでは困難と知りました。入居系施設はまだ必要です。大阪府に基金があるうちに備えを急ぐように、今後も訴えてまいります。

(指定管理者へ委託)

## 2

## 図書館運営からの撤退に反対

6月、12月議会において反対しました。

高石市は、行政のスリム化として図書館事業を指定管理者つまり民間に委託します。図書館は行政が責任をもって行うべき施設であると木戸は反対いたしました。

熊取町は町ながら、町立図書館を民間に委託せずに運営しています。20年選手の司書が20名近くいて、図書館を起点に子ども図書館や民家(提供してくださる)図書館と連携しています。市民の間を図書が行き来しています。以前は高石市も高師浜の図書館(今も放置されていますが)が地域交流の要になっていました。

民間委託すれば、おしゃれになるとか開館時間が長くなるとか市民にとってプラス面もありますが、平成28年度から平成30年度までの3年間で269,970千円が高石市から委託業者に支払われることを考えますと、行政がまずやれることを真剣に考えるべきだと思います。もはや運営できないなら、図書館をやめる代わりに税金を減額するしかないと思いますが、税金を下げずに年間9,000万円近くも支払って図書館の事業を委託することは、スリム化とは言わず単なる丸投げです。

公立図書館を維持している熊取町の姿勢は町民から評価され、まちなり人気度も上がっています。それだけに今回の民間委託は、運営次第では図書館が人口減少対策の切り札となれただけに非常に残念です。



# 3

## マイナンバー法に関連する議案4件に反対

英国が失敗と認めて廃棄した法律を、なぜ今、日本が？



マイナンバー

マイナンバー制度が2016年1月から実効スタートしました。行政手続きの簡便化だけでなく、本人の了解さえあれば、クレジットカード、キャッシュカード、診察券、ポイントカードなど、機能が一枚のカードで対応できるようになる…まさに夢のマイナンバーだと厚労省も市役所も市民が便利になると強調しています。

しかし、「使う側に便利な道具は管理する側にも便利な道具」銀行預金口座、医療履歴、民間カードとの連携、広げようと思えば、あらゆる情報をリンクできる管理しやすい便利な仕組みだということです。

何をどの程度まで管理するのか？ドイツは納税番号、フランスは民間事業と連動しない番号。両国とも、目的や使用範囲を明確にしています。日本でも、「健康保険番号」がありますが、使い道が健康保険関係と限定されています。マイナンバーのように、「あらゆる情報をリンクできる仕組みを具体化した番号」は先進国ではアメリカなど一部の国にしかありません。英国は、今回のマイナンバー法と同様の「ID法」を「市民の自由権を守るために」廃止しました。英国を習い、国民を管理することは必要最低限にとどめるべきでしょう。

認知症の方のマイナンバーの保管はどうするのか？新たなマイナンバー詐欺対策は十分か？年金機構の個人情報流出問題もどう解決したのか？十分議論されず、国民に事前説明されないままマイナンバーは実効に至りました。この点からも国民の利益よりも危険の方が大きいと思いますので私はマイナンバーには賛同できませんでした。

(議案2号・議案3号：9月議会全会 / 議案1号・議案4号：12月議会議)

# 4

## 東羽衣駅から羽衣国際大学までの歩道化促進を！

一般質問



大学のある町は歩道(レンガや石畳)が整備されています。高石を教育のまちとして広めるには大学周辺の環境整備は不可欠です。東羽衣高架下集会所は6年前に取り壊されましたが、その跡はフェンスで囲って放置したまま未使用です。その隣接する駅前通りは歩道のない危ない道路です。毎日のように接触事故寸前の状態です。道路拡張の計画はありますが、財政難で着手するめどはたっていません。このまま放置すると東羽衣駅周辺の市民だけでなく、ここを通る学生、会社に向かう市民の生命が危険にさらされます。従い、私は「JR高架下を歩道にするようにJRに交渉してください!」と6月議会、9月議会を通して行政に要請してきました。

東羽衣駅北ヤード(イケチュー横の広場)も旧国鉄アパート跡地を高石市が土地開発公社で購入したもの。市は多くの損失を出して買い戻しています。東羽衣駅整備事業、エレベーターの設置には高石市も補助金を出しています。また、JRホーム延長工事を予定していますが、それに伴うイケチュー前の駐輪場移転工事費用、約900万円もすべて高石市が負担します。

このように高石市とJRは緊密に相互支援しているのですから、東羽衣に住む市民の生命を守るためにJRにも協力していただけたらと思います。12月議会、行政から「JRとの交渉は不調におわかりました。」と報告がありました。市民の命がかかっている問題ですから、今後もJRにご理解いただけるように粘り強い交渉を期待します。

「羽衣、東羽衣駅周辺事業計画周辺住民向け総合説明会」の開催を行政に要望しました。

【裏表紙へ続く…】

# 5 東羽衣小学校北門付近の道路が危ない!

東羽衣小学校北門に続く横山内科の前の道は、複雑な四つ角を構成しています。以前から、交通量が増えて危険な状態が続いていました。

自治会・子供会・有志の方による見守り活動で子供たちは守られていますが、午前8時前後の登校時には、駅に急ぐ自転車、ご主人を送る車、あるいは、旧26号線へ向かう車で集中し極めて危険です。6月、9月議会での木戸の訴えに対して、「該当する道路面をえんじ色で目立つようにする。」との回答を得ました。着工時期を急いでいただきたいと思います。



# 6 東羽衣高架下集会所に代わる施設提供を要請!

「木戸さん、歳とったら東羽衣公民館までは遠いんですよ…」東羽衣駅近隣高齢者の声です。高石市が東羽衣高架下集会所を廃止し取り壊してから6年が経ちます。この地域の各種団体、あるいは子育てサークルが集まる場所がありません。

行政は、周辺の空き家などを確認し、代替え施設として提供して下さるようにと要請しています。



## 議会報告会

を下記の要領で行います。ご来場お待ちしております。

① **2月18日木**  
午後2時～午後3時30分  
木戸晃事務所 (東羽衣1丁目16の19)

② **2月19日金**  
午後7時～午後8時20分  
木戸晃事務所 (東羽衣1丁目16-19)

③ **2月20日土**  
午後4時～午後5時20分  
高石市立東羽衣公民館 1階集会室 (東羽衣3-15-30)



最後まで、お読みいただきありがとうございました。  
改めて私の公約を掲載致します。

## 高石市の社会福祉の拡充を目指す

1. 子育て支援、介護支援を充実させ、働く世代の負担を軽減する。
2. 老人介護施設を増設し、地域交流(介護予防)拠点とする。
3. 認知症対策として認知症サポーター制度の普及率10%を目指す。

連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-5-25  
木戸あきら事務所 072-261-7801 (TEL/FAX)

公式ホームページ <http://kidoakira.com/>



高石市議会議員

木戸あきら